

令和3年度 第4回八幡地域協議会会議録（概要版）

日 時 令和4年1月11日（火）午後6時30分～午後8時
場 所 八幡タウンセンター 第3・第4会議室
出席者 11名
1号委員 井上 誠 阿部 誠子 池田満好 池田 香 信夫 効次
後藤 俊一 小松久美子 池田 修 佐々木 アキ
2号委員 高橋 知美 小松 幸雄
欠席者 2名
1号委員 荒生 明美 土井 隆博

八幡総合支所 支所長 平井 雅史、支所長補佐 阿曾 敏

議事日程 1 開 会
2 会議録署名委員の選出
3 会長あいさつ
4 協 議
市長報告会への報告内容について
5 その他
6 閉 会

【協議の概略及びその結果】

今回は、2月17日に開催される「令和3年度地域協議会市長報告会」に提出する八幡地域協議会としての案件について議論を行った。

その結果、①大自然を活用したジオパークの拠点づくりの見える化について ②子育て支援について ③避難場所について の3項目を八幡地域協議会として報告することになった。

1 開 会

○高橋副会長開会 委員2名の欠席を報告

2 会議録署名人指名

○副会長 会議録署名委員の指名は、委員名簿順に指名することにして、5番 信夫委員にお願いする。

3 会長あいさつ

○池田会長あいさつ

4 協 議

市長報告会への報告内容について

○議長 「市長報告会への報告内容について」

< 事務局 説明 >

- 池田 香委員 緊急性のあるものを要望として提出するのが良いと考えるので、災害時の計画を要望するのが良いのではないか。
- 信夫委員 奥山林道については、林道の復旧については予算が付いたようだが、やはり観光用道路に持っていくためには、秋田県と山形県、由利本荘市と酒田市がきっちり連携していかないといつになっても林道のままで終わってしまう。東北電力の奥羽幹線工事で作業道として奥山林道を使用するという話も聞いているので、是非推進協議会を立ち上げて、官民協力する体制をつくっていただきたい。
- 支所長 奥山林道については、協議会を立ち上げることは、市長も了解していて既定路線の話。あえて、報告会の案件に入れることはしなくてもよいと考える。
- 阿部委員 鳥海やわた観光株のヨーグルトについては、酒田市が一番の大株主なので、工場の整備をお願いしたい。
- 信夫委員 このことは、鳥海やわた観光株の取締役会でも話が出ていて、今はコロナの関係で、経営状態が悪い中で更に借金をしていいかという問題がある。時期が来たらこの問題に取り組んでいくということになっている。
- 議長 ノベルズの牧場から牛乳を仕入れているのか。
- 信夫委員 今は、そうはなっていない。全農経由で仕入れている。ノベルズが本稼働したら、直接購入ということになると思う。
- 議長 体育館の件は、私はこれ以上取り上げるつもりはない。
- 支所長 体育館の工事については、今年度中に設計が終わり、来年度早々に入札、順当にいけば6月の定例会での議決を得て着工となる。工期についてはR5年の夏ごろまでとなっている。
- 議長 住民の移住を推進するために、酒田市では移住者に土地代を無料にするとか考えてないのか。
- 支所長 税金については、法律に基づいて課税しているので簡単にはいかない。
- 池田 修委員 八幡地域に移住体験ができる住居があれば良いと思う。今コロナの影響でリモートワークも盛んになってきている。そうした中で、自然豊かなこの八幡地域で生活してみたいという方はいっぱいいると思う。
- 信夫委員 移住促進は本当に大切だと思う。こういう土地に来る人は、自給自足の生活を

したいと考えていると思う。そうなら、農地を買うのではなく、地主から借りるようになればいい。購入は難しいが借りるのであれば簡単にできる。八幡地域から酒田市内に移る人はいるが、他に地域から来る人はいない。同じマスの中での増減なので、きちんと環境を整備して人を呼び込むことが重要。

○池田 修委員 移住促進のためには、子育て支援が重要。0～2歳児の保育料を無料にするだとか予算に入れてほしい。八森公園もほとんど手つかず状態。あのようないい施設もあるので、整備をして子育て支援の充実を図るべき。

○小松委員 人口を増やす手立てとして、例えばエネルギー関係等の研究機関を誘致すれば、そこで働く人は自然とやってくる。

○後藤委員 今の酒田市は、若い人たちが住みたいと思うような魅力がない。清水屋の通りは、日中歩いている人はいない。一つの考えだが、今は学校が離れているので、中町の再開発で中心部に学校を持ってくるというのはどうか。若い人が集まらない町は魅力がない。

○信夫委員 この間、自治会長会でも提案したが、保育料について、所得に応じて保育料が決まっていくが、0歳児の保育料を無料にするとか、そういった思い切った施策がないと人口増は図れないと思う。新婚で八幡に定着したら、5万とか10万とかじゃなくポンと100万、200万円ぐらい出さないと難しい。

○高橋委員 子育て支援の関係では、子供たちが集まれる施設が各地にあるが、八幡地区にはない。施設が余っているのであれば、その施設を活用して、子供たちが自由に使えるものにしていくべきではないか。また、高校生の送迎の問題もある。親が送ることができないときの足をどうするのか、交通弱者の足の確保の問題も考えなければいけない。

○議長 市長報告会へ挙げる案件は、1つとして、大自然を活用したジオパークの拠点づくりの見える化を図っていただきたい。今のままでは、何をしているのか全く見えてこない。これに奥山林道の整備関係も含めて話してきたい。2つ目の子育て支援の問題は、人口がどんどん減っていく中で、人口を増やすための施策の考えを聞きたい。3つ目としては、人命が大切ですので、地域の方々の話を聞いていると、危機管理のことで、具体的な内容がわからないということが出てくる。実際どこに逃げるのか等周知が進んでいないのが問題。日中の避難と夜間の避難では方法や、避難する人が違ってくる。それぞれの場合に応じた避難計画というものが必要になるのではないかな。このようなことを話してきたいと考える。

5 その他

○支所長 今回、夜間に開催したわけですが、今後の開催はどうするか。

○池田委員 夜間の方が参加しやすいと思う。

○支所長 今後の開催の参考にする。

7 閉会

○高橋副会長閉会